

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長
K. R. ラビンドラン 氏

例会予定 6月 1日 会員卓話 前島 聡会員
6月 8日 事業実績報告

VOL. 53 No. 38(通算No. 2479)

2016年 5月25日(水) 例会プログラム
点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
次年度クラブ協議会



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。

鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



5月は青少年奉仕月間

例会報告 VOL. 53 No37(No. 2478) 5月18日(水)晴れ (司会 石井康弘委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話 水海道第一高等学校
校長 武井一郎様

ビジター

水海道第一高等学校 校長 武井一郎様

地区大会表彰



北村 仁会員・在籍40年以上

諸 報 告

親睦活動委員会 石塚克己委員長

5月21日(土) 春のお楽しみ会、バスの集合・出発時間は午後1時15分、白井石油さん前です。

次年度国際奉仕委員会 荒井孝典次年度国際奉仕委員長

オーストラリア交換学生募集のパンフレットを作成しました。ご応募お待ちしております。

幹 事 報 告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ 水戸RC

例会変更通知 なし

- ・6月29日(水)さよなら例会(於:満月 18時より)の出欠表を回します。ご記入宜しくお願いします。
- ・6月4日(土)田上秀雄会員 黄綬褒章受章お祝いの会(於:藤よし 18時より)を有志で開きたいと思います。回覧します。

会 長 挨 拶 海老原良夫会長 5月18日「青年の面影(おもかげ)」



歌謡曲は時代を映す鏡とも云われますが青年の衣装や行動様式もまた同様の感がします。

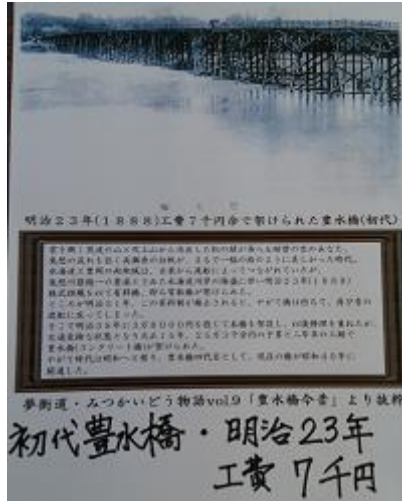
1975年吉田拓郎作詞作曲・かまやつひろしリリース『我が良き友よ』の「…下駄をならして奴が来る 腰に手ぬぐいぶら下げて 学生服にしみ込んだ男の匂いがやってくる …カづくだと言いながら女郎屋通いを自慢する…」など拓郎の作詞したこの歌の1番から6番までの歌詞には一時代前の青年の面影が偲べれます。

私は1987年から、まちの古老に取材した話を基に郷土の風景、歴史、誇りを次代に語り継いでゆこうと活動しておりますが、その取材日誌1995年3月11日の頁に、明治43年生まれで取材当時85歳の女性の話が遺されています。…『小学生の頃、豊水橋の上で馬車引きに空の荷馬車に乗せてもらって遊んだ。下

5月は青少年奉仕月間

駄履きで外套を肩にかけ腰に手ぬぐいをぶら下げた旧制中学生たちが「筑波の山は雲を衝き 鬼怒の流は45里 空のあなたに舟の帆白し」と校歌を合唱していた。高瀬舟が豊水橋の下をくぐるときは舟の帆をたたんだ』・・・

拓郎の『我が良き友よ』1 番の歌詞は、私がかつてこのまちの古老に聴いた回顧談に登場する旧制水海道中学生の面影にも重なるのです。



旧制水海道中学(現・茨城県立水海道一高)は明治33年(1900)に120名の新入生と6名の教職員によって開校されました。120名の新入生のうち5年修了後、卒業できたのは40名でその多くは旧制高等学校や陸軍士官学校などの上級学校へ進み、卒業生総代古井岩三郎は旧制一高(現・東京大学)に進学しました。そこで古井は夏目漱石に漢文の授業を受け漱石の目にとまり、小説『吾輩は猫である』の登場人物に「古井・某」として名前を載せてもらったほどの秀才でした。

旧制水海道中学は創立当初から地域の熱い期待を背負った勉学意欲の高い進学校として百年の歴史を刻んでまいりました。

さて2016年、日本は今夏の参議院選挙で初めて18歳選挙権が導入され、およそ240万人の青少年が新たに有権者に加わることになります。それに伴い「主権者教育」と呼ばれる教育プログラムにより文科省と総務省は全高校に副教材を配布し、模擬投票などを通し学校で実践的に政治を教える授業を始めているようです。

学校で政治をどう扱うべきか。地域や社会が担える役割とは。

RI青少年奉仕月間に因み私たちも月間テーマを思索してみましよう。



《旧制水海道中学生の政治との関わり「芝居小屋・劇場豊水座」における大演説会》

5月は青少年奉仕月間

外部卓話 「アクティブ・ラーニングと椅子作り」 水海道第一高等学校 校長 武井一郎様



次期学習指導要領の改訂の目玉ともいわれる「アクティブ・ラーニング」が注目されている。「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」と言われているが、私は言語活動の充実とアクティブ・ラーニングはほぼ同じものと考えている。言語活動を通して思考力・判断力・表現力は育成できるものと考えている。

本校の授業にも、言語活動やグループ学習が見られる。生徒たちは積極的に発言し、意見交換を行っている。義務教育段階での言語教育充実の成果だと思う。

学習定着率について、「講義」の学習定着率は5%、「グループ討議」は50%、「自ら体験する」は75%、「他人に説明する」は90%というデータがある。

また、社会に出るとチームで課題を解決しなければならず、そのトレーニングとして、アクティブ・ラーニングの「協働的な学習」は不可欠だ。これまでの学校は、チームで協働して課題を解決することを、意外と行ってこなかったように思う。

ところで、私は天気の良い休日に、山歩きのした後の温泉に入ることを楽しみにしている。2年前、道の駅きつれがわ(栃木県さくら市)の温泉に入浴後、たまたま目にとまったパンフレットが「喜連川丘陵の里 杉・インテリア木工館」であった。そのパンフレットにあった杉でつくった椅子が気に入り、その木工館を訪ねた。そこは廃校になった小学校を活用した施設であった。代表の薄井徹さんから説明を聞いた。2階建の校舎の1階には、薄井さんやスタッフが作った椅子やテーブルなど木工品がたくさん展示されていた。その椅子やテーブルのたたずまい、手触り、なんと言ってもその軽さに驚いた。その軽さがとても魅力的だった。そして、我が家の板張りの床にも似合うと思った。

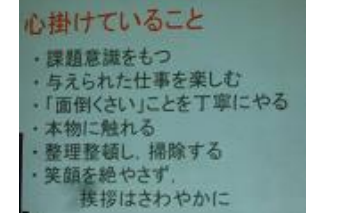
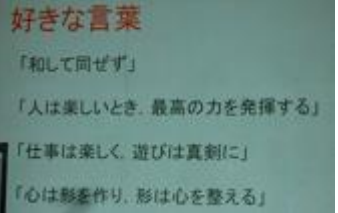
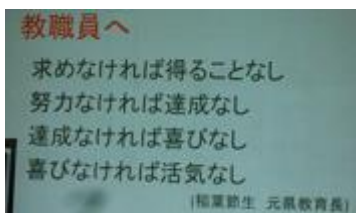
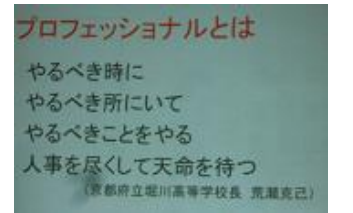
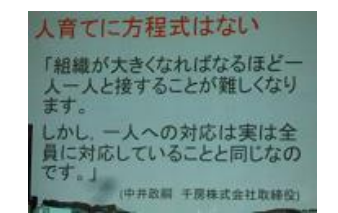
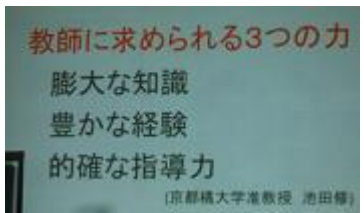
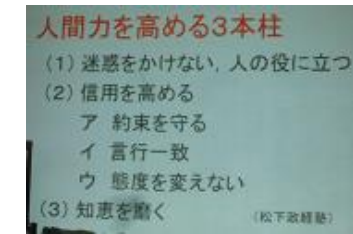
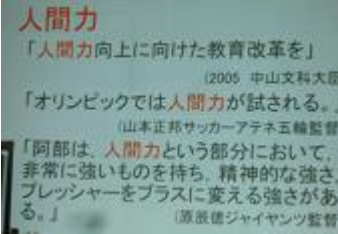
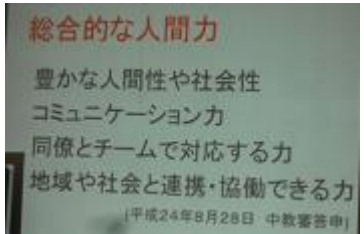
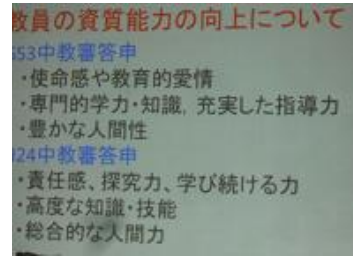
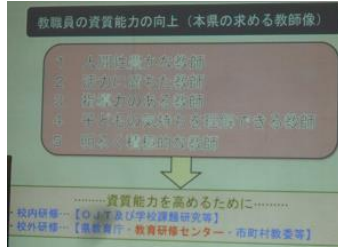
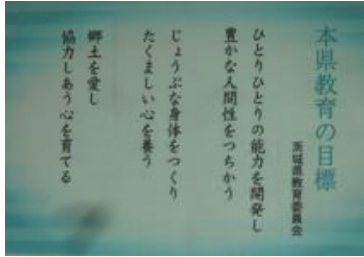
この木工館では、その名の通り杉やヒノキにこだわった木工品を作っている。戦後、日本に植林された杉の木はたくさんあるが、なかなかそれを有効活用しきれていない。その杉を有効に使っている。杉やヒノキなどの針葉樹は広葉樹に比べてとても柔らかく、温かみのある木材だ。椅子に座ると本当に柔らかな感じがする。ずっと座っていても体が痛くならない。木のぬくもりを感じ、冬でも冷たさを感じない。いいところだけだが、これまでは椅子などには使われていない。それは強度や耐久性が十分でないという理由からである。薄井さんは橋の設計をしていた経験から、その時培った技術を生かし工夫を凝らした。木材のつなぎ目の組み合わせ方を研究し、独自の製法で耐久性の良い杉の家具を作ることになった。

以上の話を聞き、私も杉の椅子を作りたくなった。木工塾に入会し、電動ノコギリや電気カンナなど道具の正しい使い方を習得した。スタッキングツールを作りながら作業方法を学び、肘付き椅子や王様椅子、ベンチやダイニングテーブルを作った。いずれも我が家で活躍している。もちろん、来客にも好評である。

現在、地球に優しいエコロジー、温暖化防止、持続可能な社会などと叫ばれているが、杉やヒノキの間伐材を利用した家具を作ったことで、我が家ではその意識が高まりつつある。それにも増して、「ものを作る喜び」をたっぷり味わうことができた。そして、今回の活動を通して、私の頭はとてもアクティブであった。アクティブ・ラーニングに繋がる体験だったと実感している。



5月は青少年奉仕月間



出席報告 荒井孝典委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
55名	39名	16名	0名	6名	81.82%

ニコニコボックス 染谷秀雄委員長

入金計 ¥27,000 累計 ¥1,681,000

水海道一高 武井一郎校長先生ようこそ水海道ロータリークラブへ。本日は卓話をどうぞよろしくお願い申し上げます。 海老原会員

武井校長先生 本日卓話宜しく申し上げます。 松崎会員

田上様、黄綬褒章おめでとうございました。陛下にお会いできてとてもうらやましいです。本橋会員
この度、春の叙勲で黄綬褒章を受章致しました。 田上会員

常陽銀行様の常陽ビジネスアワードで優秀賞を受賞致しました。 青木(清)会員

武井校長先生、ようこそおいで下さいました。本日は、卓話を楽しみにしております。 石井会員

武井校長、宜しく。 瀬戸会員

武井校長先生 宜しくお願ひ致します。 大澤会員

武井先生 本日よりよろしくお願い致します。 染谷(秀)会員

早退します。 古矢会員

例会欠席しました。 染谷(正)・鈴木(茂)・前島 各会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員

5月は青少年奉仕月間

ロータリーの物語は書き換えられなければならない

親愛なるロータリアンの皆さん、親愛なるロータリアンの皆さん、数年前、善意ある開発援助機関が、ケニアのカノ平原のある地域社会で水供給の改善事業を引き受けました。実行委員会が結成され、会議が開かれ、地元の人からも意見を聞きました。そして、灌漑と家畜用の水供給システムを改善するという主なニーズが特定されました。地元の代表者が望む通りに、このニーズに取り組む計画を立て、すぐに作業が始まりました。

しかし、工事が始まると、地元の女性グループが即座に反対の声を上げ、水の迂回路を造ろうとする作業員の前に立ちはだかりました。さらなる調査の結果、農業用に迂回させようとした水は、何世帯もが飲料水や生活水として使う唯一の水源地だったということがわかりました。開発プロジェクトは一からやり直しとなりました。

なぜこんなことが起きたのでしょうか。それは地域住民を代表するグループがすべて男性で、誰一人として女性の声を聞かなかったからです。計画のどの段階でも、男性たちは地域の事情とニーズをよく知り、地域を代弁し、地域を代表できると決めてかかっていた。これが実情とはほど遠いということは明らかです。地域のニーズとリソースをよく理解していたのは女性たちでしたが、彼女らの意見を求められることはありませんでした。

ロータリーに女性が入会するようになったのはわずか30年ほど前のことですが、それ以来、ロータリーが最も生産的な状態であることは偶然ではありません。1995年当時、女性会員は20人に1人にすぎませんでした。今では5人に1人(*)の割合です。進歩していますが、まだ十分ではありません。私たちが地域の代表になりたいと考えるなら、その地域の状況を反映させなくてはならないというのが常識です。そして、地域のために十分に奉仕したいのなら、ロータリーに地域の実情を十分に取り入れなければならないのです。

男女平等に関するロータリーの方針は非常に明確です。しかしながら、ほぼ5分の1(**)のクラブは女性の入会を今も拒み続けています。会員となるのにふさわしい女性が見つからないと言うのです。そう論じるロータリアンに対して、私はこう申し上げるでしょう。その方こそ、ロータリアンに求められる最も基本的な2つの資質、すなわち「誠実さ」と「良識」が欠けている、と。

女性への門戸を閉ざすクラブは、持ちうる才能、能力、人脈の半分以上を見逃しています。地域社会や人々への奉仕に欠かせない、全体像を失っているのです。私たちの可能性を限定するような固定概念に固執すれば、奉仕活動だけでなく組織全体がダメージを受けるでしょう。またパートナー団体が私たちを真剣にとらえることはなくなり、入会見込者にとっては魅力のない団体と映るに違いありません。特にロータリーの未来に欠かせない若い層を失うこととなります。

女性差別を容認することは、ロータリーをまったく見当違いの組織へと追い込むことになるでしょう。私たちはポール・ハリスの時代に生きているふりをするわけにはいきませんし、ハリス自身もそれを望んではいないはず。ハリスが「ロータリーの物語は何度も何度も書き換えられなければならない」と言ったように、ハリスが誇りに思えるようなロータリーの物語を共につづっていきましょう。

編集部注 *日本では20人に1人 **日本では約4割



K. R. RAVINDRAN

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL